

第9回都市交通政策・観光・交通行動研究に関する国際セミナー 2018

The 9th International Seminar on Urban Transport, Tourism and Travel Behavior Analysis

毛利雄一¹ 正木 恵²

By Yuichi MOHRI and Megumi MASAKI

1 はじめに

本国際セミナーは、第1回（2008）北京交通大学での開催以降、都市交通政策および観光・交通行動研究に関する日中研究者間の相互交流を深める目的で、今回の杭州でのセミナーを含め、9回開催されている。セミナー開催の背景は、従前の観光地交通計画に限定されていた議論の枠組みから脱して、日本の観光立国を目指した国際観光論の展開、広域周遊行動における観光地（域）間交流、都心部地区回遊行動に着目した研究、さらには、観光まちづくりのためのAMMA（Area Marketing & Management Approach）手法開発への関心の高まり等々、観光研究の広領域への拡大の必要性が強くなったこと等があった。これらの背景のもとに、国際観光と観光統計、観光マーケティングへの取組みとともに、持続的発展のための地域・都市交通戦略、交通インフラ整備論、都市交通政策といった関連テーマへの展開を意識し、活発な研究討議を行ってきた。また、開催都市を中心とする都市や観光地の現地視察を通じて、歴史文化をはじめとするその特徴や魅力を体感するとともに、日本と中国の共通点や異なる点、今後の都市交通・観光政策について議論を行ってきた。

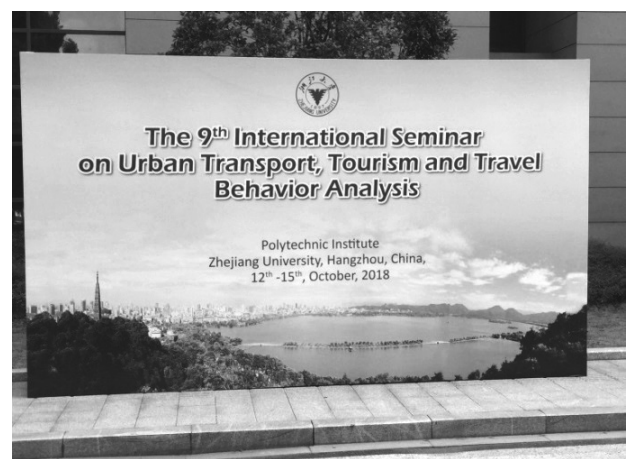
2 第9回杭州大会セミナー

今回の第9回杭州大会（2018）は、浙江大学の王殿海（Wang Dianhai）教授と同大学の孫軼琳（Sun Yi Lin）講師の協力を得て、休日・観光交通行動分析、都市・地域交通政策、そして観光研究に関する最新動向とその展望についての研究討議を行った。杭州市は、隋時代以降、江南運河の終着点として経済文化が発展し、現在では、世界でも最大規模を誇るEコマース企業の阿里巴巴集団（アリババ集団）の本社があることでも有名である。また、市中心部の西には世界遺産の西湖という湖があり、国内外から多くの観光客が訪れる景勝地でもある。

浙江大学での第9回杭州大会（2018）のセミナーは、2018年10月12日（金）に日本人と浙江大学の学生を含めた中国人40数名の出席者によって開催された。発表内容は、以下に示されるプログラムに従って、中国、日本からの観光研究や都市・地域交通政策に関する研究成果が発表され、近年のビッグデータ等を活用した観光行動の把握、観光を中心とする交通行動分析とモデル適用に関する新たな視点からの研究動向、中国、日本それぞれの交通政策の特徴と課題、それらに対する解決方法等、活発な議論が行われた。

表－1 これまでの国際セミナーの開催

		開催地
第1回	2008年	北京市（北京交通大学）
第2回	2009年	北京市（北京工業大学）
第3回	2011年	蘇州市（蘇州大学）
第4回	2013年	西安市（長安大学）
第5回	2014年	神戸市（流通科学大学）
第6回	2015年	大連市（大連理工大学）
第7回	2016年	済南市（山東交通学院）
第8回	2017年	西寧市（青海民族大学）
第9回	2018年	杭州市（浙江大学）



写真－1 浙江大学のセミナー開催

¹業務執行理事、研究本部長兼企画室長 博士（工学） ²都市地域・環境部門 研究員

<第9回杭州大会(2018)のセミナーのプログラム>

- ・基調講演1: 浙江大学 講師 孫 軼琳
「公共自転車共有計画と行動分析: 杭州市を例に」
- ・基調講演2: 宇都宮大学 教授 大森宣暁
「人々の移動における正の効用: 自動運転技術への選好の観点から」
- ・基調講演3: 山東師範大学 教授 孫 風柴
「最近の観光研究の紹介」
- ・基調講演4: 関西大学 教授 秋山孝正
「都市鉄道に関する台風災害時の計画運休の有効性」
- ・研究報告1: 流通科学大学 教授 西井和夫
「観光地ライフサイクルに基づく観光目的地マネジメント」
- ・研究報告2: 広島大学大学院 教授 張 峻屹
「日本の過疎地域における道の駅とサービスエリアの利用に関する全国調査」
- ・研究報告3: 北京工業大学 教授 関 宏志
「観光景勝地における旅行者の意思決定に関する研究」
- ・研究報告4: 清華大学 教授 石 京
「北京における中高年齢層の観光活動特性分析」
- ・研究報告5: 計量計画研究所 研究員 正木 恵
「モバイルデータを用いた観光行動分析」
- ・研究報告6: 北京交通大学博士課程 林 小梅
「高速道路無料化策がもたらす乗継ぎ交通機関と出発日への影響: 春節祭期間の都市間長距離移動を対象として」
- ・研究報告7: 関西大学大学院修士課程 保田義彦
「地方都市におけるBRTを利用した公共交通政策に関する実証的分析」
- ・研究報告8: 関西大学大学院修士課程 常 荃奎
「外国人旅行者に対する都市鉄道サービスの課題整理」
- ・研究報告9: 大連理工大学 准教授 劉 鋈
「最近の観光研究の紹介」
- ・研究報告10: 建設技術研究所研究員 下原祥平
「東北地方における取組事例の紹介」

・討議: 「最近の都市交通政策・観光・交通行動分析の展開とこれから」

また、翌日の10月13日(土)は、西湖をはじめとする杭州市の視察が行われ、世界遺産の景勝地を見学するとともに、北宋時代の歴史文化を体感・学ぶことができた。

以上のセミナーでの研究発表と討議、現地視察は、継続的な日中研究者間の相互交流を深めてきた。

次回の第10回セミナーについては、2019年8月に北海道札幌市において、中国からの研究者を招いて開催される。



写真-2 セミナーでの発表



写真-3 西湖の西南に位置する宋城